



## 北アフリカ地域ニュース

### リビア：2008年度予算発表

(3月17日付リビア全国人民委員会ホームページ)

リビア全国人民委員会（内閣）ホームページ (<http://gpcg.gov.ly>) は12日、2008年度予算を発表したところ、概要は以下のとおり。なお同予算は3日シルテで実施された全国人民会議（国会）で決定された。

賃金等 6,729,396,328 リビアディナール（約56億米ドル）

行政予算 4,194,095,146 リビアディナール（約35億米ドル）

開発予算 33,925,042,520 リビアディナール（約283億米ドル）

富の再配分 4,622,138,054 リビアディナール（約38億米ドル）  
（全国人民会議でカダフィ指導者の演説に基づいて設けられた項目だが詳細は不明）

総額 49,470,672,048 リビアディナール（約413億米ドル）

#### <参考> 2008年度のリビアの主な動き

2008-01-01 リビアは、安保理での議長国になった。

2008-01-03 リビアのシャルガム外相は、ワシントンを訪れ、ライス国務長官と会談した。リビアの外相がワシントンを訪れたのは1972年以来。

2008-01-10 フランスのエルベ・モリン防衛大臣は、ラジオ放送RTLで、5月末までにリビアとラファル戦闘機数十機の正式な契約を締結できるだろうと見通しを述べた。ラファル戦闘機の購入については、カダフィ指導者が2007年12月パリを公式訪問したときに表明されたもの。エアバス機などの巨額の契約も報じられている。

2008-01-16 ワシントン連邦裁判所は、リビア政府と6名の閣僚に対し、1989年にニジェールでのUTA機爆破事件の7名のアメリカ人犠牲者の家族に対し、60億以上の賠償金を支払うよう命令した。

2008-01-27 リビアのトリポリにおいて、ムバラク大統領の他、スーダン、チャド、エリトリア、セネガル、ガボン、モーリタニアの首脳が参加したアフリカ首脳会談が行われた。会談ではダルフール情勢、スーダンとチャドと中央アフリカの国境における緊張状態の收拾等について話し合われた。またアジスアベバで開催予定のAUサミットにおける議題も取り上げられ、リビアが提案しているアフリカ合衆国樹立についても話し合われた。

- 2008-01-29 カダフィ大佐の特使としてシアラ副外相が日本を訪問。
- 2008-02-20 台湾外務省は、リビアに通商代表部を設置し、2月13日から活動を開始したと発表。
- 2008-02-25 安保理非常任国のリビアは、イランに対する英仏国の制裁案について反対を表明。
- 2008-02-27 EU 委員会は、リビアと協力協定交渉に入ることを加盟国に提案。貿易自由化、開発支援、安全保障面での協力など。
- 2008-03-03 リビアのアブデラマン・シャルガム外相は、全国人民会議で、米国の対イラク、シリア、イスラエル政策に反対を表明。一方、文化、経済面では米国との協力は不可欠であると述べた。
- 2008-03-03 リビアの全国人民会議（国会にあたる）がシルテで始まった。2008年予算の審議などが行われる。開会に際してカダフィ指導者は、国民の期待に応えられない官僚機構の大幅な縮小を示唆し、石油収入を直接的に国民に分配すること、政府組織の必要性はなく、人民一人一人が国家運営に携わるべきであるとの従来の考えを強調した。
- 2008-03-03 安保理のイラン制裁強化案について、リビアは米国の説得を受けて賛成に回った。南アフリカ、ベトナムが同様の対応。インドネシアだけは棄権。
- 2008-03-05 フランス海軍のシロッコがトリポリ港三日間の予定で寄港。フランス海軍とリビア海軍の協力関係の強化が目的。シロッコは4機の大型ヘリコプターを積載でき、上陸作戦のオペレーションや病人などの運搬などができる。なおシロッコは北アフリカにサハラ砂漠から上がってくる熱風の意。
- 2008-03-06 現地報道によると拘留中のリビアのアル・カーイダ系イスラムテログループ(GICL)のメンバーがカダフィ基金総裁でカダフィ指導者の息子セイフ・アル・イスラムの仲介によって近日中に解放されることが決定された模様。GICLは、1990年初頭に創設された地下組織で95年にグループの存在を公にしている。リビアに存在する唯一の反体制勢力。
- 2008-03-11 リビア当局は、体制とカダフィ大佐を非難したとして拘束していた Fathi al-Jahmi を釈放。元知事。過去8カ月は入院していた。
- 2008-03-11 国営 JANA 通信によれば、カダフィ指導者とイタリアのプロディ首相が電話で会談。両国間の関係強化並びに、2月にリビア海域で拿捕されたイタリア人漁師3名の早期解放について話し合いをもった。他チュニジア人4名、セネガル人1名が拘束されている。

---

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799